

(様式1)

令和2年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

| (1) 学校教育目標 |                           | 児童生徒一人一人の障害の状態や特性に応じて、資質・能力の育成をめざし、自立と社会参加の達成を図る。   |   |            |   | 学校整理番号  | 特20          |
|------------|---------------------------|---|---|------------|---|---|--------------|
| (2) 現状と課題  |                           | <p>小学部25名、中学部18名、高等部46名、計89名が在籍し、そのうち20名が隣接するはまゆり学園に在園している。認可学級は23学級であるが、指導学級として編成している21学級のうち13学級が重複学級となっており、障害の重度重複、多様化が進んでいるほか、高等部在籍数も増加傾向にあることから、児童生徒一人一人に応じた指導の更なる充実が求められている。また、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めていく必要がある。</p> <p>むつ下北地区唯一の特別支援学校であることから、就学や教育などに関する学校等や保育所、市町村教育委員会への支援のほか、移行支援に関する施設や事業所との連携について、更なる充実が求められている。</p>                               |   |            |   | 学校名   | 青森県立むつ養護学校   |
| (3) 重点目標   |                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症対策の臨機応変で確実な実施</li> <li>2 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の展開</li> <li>3 キャリア発達を支援する視点での指導の充実</li> <li>4 地域との連携した特別支援教育の推進</li> <li>5 交流及び共同学習の推進</li> <li>6 生涯スポーツの振興</li> </ol>  |   |            |   | 対象障害種別  | 知的・肢体        |
| (4) 結果の公表  |                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年2月8日(月)、10日(水)、3月3日(水)に開催した学部ごとの参観日において、学校評価の結果の説明及び要望事項への回答を行った。</li> <li>・令和3年2月4日(木)に開催した学校評議員会議にPTA会長にも出席いただき、教職員による年度末反省、教職員による自己評価や保護者アンケートの結果を説明するとともに、学校関係者評価を行った。</li> <li>・来年度4月に行われるPTA総会において、令和2年度学校評価結果報告書等の説明を行うとともに、同内容を学校ホームページにて公開する。</li> </ul>   |   |            |   | 自己評価実施日   | 令和3年1月18日(月) |
|            |                           |   |   |            |   | 学校関係者評価実施日  | 令和3年2月4日(木)  |
|            |                           |   |   |            |   | (9) -イ 学校関係者評価委員会の構成  |              |
|            |                           |   |   |            |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員6名(施設関係者3名、企業関係者1名、元PTA会長1名、地域住民1名)</li> <li>・保護者(PTA会長)1名</li> <li>・計7名</li> </ul>                                    |              |
|            |                           |   |   |            |   | (10) 次年度への課題と改善策  |              |
| 番号         | (5) 評価項目                  | (6) 具体的方策   | (7) 具体的方策による目標の達成状況   | (8) 目標の達成度 | (9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等  |   |              |
| 1          | 新型コロナウイルス感染症対策の臨機応変で確実な実施 | ①基本的な感染症予防指導の徹底及び健康観察等の保健管理の徹底  | おおむね達成<br>・年度当初に作成した「本校における保健指導」を教職員で共有し、対策の徹底が図られた。  | B          | 児童生徒への新型コロナウイルス感染症対策の指導、教職員の対策の徹底が図られている。今後も継続して実施してほしい。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理意識を保ちながら、保護者や関係機関との共有や周知を行うことが必要である。</li> <li>・最新の情報をもとにした指針の見直しや研修会を適宜実施する。</li> </ul>                             |              |
| 2          | 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の展開  | ①主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた教育活動の実施<br>②医療的ケアの確実な実施と保健安全指導の適切な実施   | おおむね達成<br>・児童生徒の思いや願いを踏まえた学習内容を教師間で話し合うなど日々の授業実践が見られた。<br>・緊急時対応訓練を年2回学部全職員で実施し、校内体制の整備を進めた。          | B          | 児童生徒個々の思いや願いを達成するために保護者や関係機関等の連携を図るとともに、医療的ケアの適切な運用と充実させるため取組を継続するとともに、専門性の向上に努めてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の実態や発達の段階を踏まえた取組が行われているが、学年や学部間の系統的な設定が求められる。</li> <li>・教育活動と連動した校内研究による専門性の向上の機会を設定するほか、教職員間の意思疎通を促進する取組を進める。</li> </ul> |              |
| 3          | キャリア発達を支援する視点での指導の充実      | ①児童生徒の思いや願いを踏まえた指導の展開<br>②自立と社会参加をめざした指導内容の整理と指導方法の工夫   | おおむね達成<br>・様々な活動場面で、児童生徒の自立と社会参加を意識する姿が見られた。<br>・教職員が授業改善を重ねた中で授業力向上が見られた。                            | B          | 様々な学習場面において、児童生徒のできることを探り、指導を積み重ねていくことで成長を促しているため、これまでの取組を継続するとともに、更なる指導の充実に努めてほしい。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の障害の状態に加え、思いや願いを的確に捉えた授業実践を継続する必要がある。</li> <li>・外部専門家による指導助言を得る機会のほか、教職員同士が学び合う活動を実施する。</li> </ul>                      |              |
| 4          | 地域との連携した特別支援教育の推進         | ①地域の人材や資源を活用した指導の展開<br>②保護者、関係機関、市町村等と連携した活動の実施   | おおむね達成<br>・専門的な知見を体験的に学ぶ機会を設定したことで、児童生徒が進んで活動に取り組む姿が見られた。<br>・主催した研修会やセミナーで、関係機関と連携した取組ができた。          | B          | 地域との連携や児童生徒の学習の充実に図るために、ICTの活用や動画サイトの活用など工夫した取り組みを進めてほしい。                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組に加え、新しい学習指導要領に対応した内容を吟味する必要がある。</li> <li>・地域の要請や期待に応えるような取組をさらに進める。</li> </ul>                                       |              |
| 5          | 交流及び共同学習の推進               | ①地域の保育所、小・中・高等学校及び近隣住民等との計画的な交流活動の実施<br>②居住地校交流の計画的・組織的な実施  | おおむね達成<br>・同年代の児童生徒や地域の方との協働活動において、相互理解の深まりが見られた。<br>・居住地校交流は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施回数昨年比の半分ほどの実施となった。 | B          | 居住地校交流や学校間交流など将来を見据えた活動になっており、継続して取り組んでほしい。<br>地域との交流活動の更なる充実に努めてほしい。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策が必要であり、地域の感染状況に応じた対応が求められる。</li> <li>・これまでの実績や令和3年度からスタートする交流籍を踏まえて内容を検討し、実施する。</li> </ul>                             |              |
| 6          | 生涯スポーツの振興                 | ①各種スポーツ体験の拡大(やる、見る、関わる)<br>・特別支援学校総合スポーツ大会等への参加   | おおむね達成<br>・中学部と高等部が連携しお互いが応援できるような場面設定した取組が進められた。   | B          | 国内においてオリンピックやパラリンピックに関連する競技の盛り上がりを感じる。学校においても様々な学習機会の中で取組を進めてほしい。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部では十分に取組まれているとは言えない。</li> <li>・校内大会及び校外の諸大会、授業等において機会を設けるなどスポーツへの関心を高める取組を工夫する。</li> </ul>                                |              |
| (11) 総括    |                           | <p>教職員による年度末反省では、学校経営の重点として設定した6項目のうちほとんどがB評価であり、予定通り達成できた。保護者及び教職員ともに評価点4及び3の項目が8割以上であること、昨年度から評価を下げた項目が教職員4項目、保護者4項目であることなどから、今年度の教育活動についておおむね良好な評価をいただけており、引き続き教育活動を充実させていく必要がある。</p> <p>教職員と保護者の双方で、「子ども本人の満足度」の項目の平均値が高かったことから、引き続き児童生徒の思いや願いを大切に教育活動に取り組む必要がある。</p> <p>学校運営については、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、各学部の行事等の見直しや各分掌における業務内容の整理を進め、教職員の業務改善に努めていく必要がある。</p> |   |            |   |   |              |